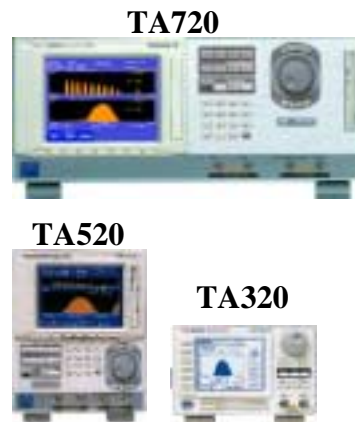
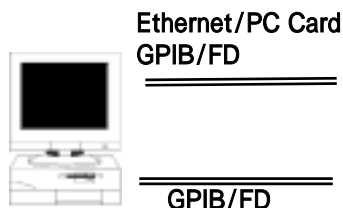


光ディスク符号間干渉解析ソフトウェアは、TA720,TA520,TA320の測定データから、前後の記録長によるジッタや偏差への影響をパーソナルコンピュータ(PC)上で解析するソフトウェアです。TA320/TA520では、記録長(パルス幅)データによる符号間干渉解析が可能であり、TA720では更にパルス幅とデータtoクロック位相差の両データを利用した符号間干渉解析が行えます。高速・高密度化の進む記録型光ディスクのメディア特性や記録ストラテジの評価に有効な解析ソフトウェアです。

システム構成



符号間干渉解析ソフトウェア



特長

Data-Data(パルス幅)データ、Data-Clock位相差データの符号間干渉解析

前後の記録長を指定し、これを抽出条件として“Data - Data(パルス幅)データ”や“Data-Clock位相差データ(TA720のみ)”を抽出できます。抽出データを元にヒストグラムを作成したり、ジッタ値やデビエーションの解析結果を連続する2符号の組み合わせごとにマトリクス状に表示することが可能です。抽出条件には、任意の符号(nT)指定、符号を範囲で指定(6T以上)、偶数/奇数のみの符号指定などがあります。記録ストラテジが同様の特性を持つ長い符号のみを解析することも可能です。

最大2Mサンプルのデータを解析可能

TA720/TA520/TA320の測定データを繰り返して取り込むことで、最大2Mサンプルの大容量データを解析できます。

任意の変調方式、倍速に対応

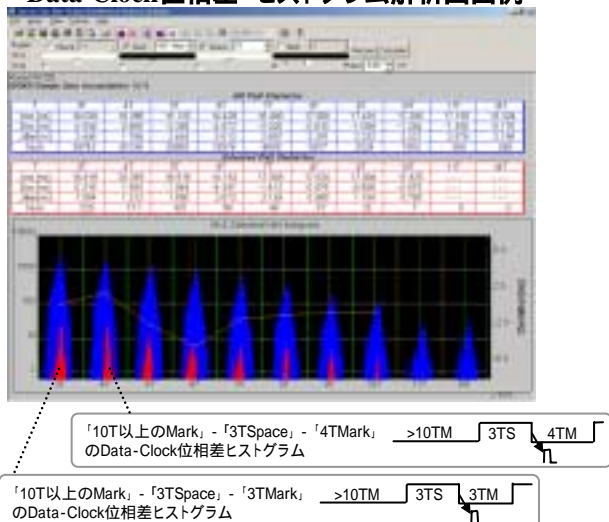
変調方式は、8-17変調(EFM)、8-16変調(EFM+)、1-7変調、マニュアル(1T~14Tから任意設定)から選べます。またチャンネルクロック周期を任意に設定できますので、DVDでは8倍、CDでは48倍速までの解析が可能です。(TA720での測定時)

レポート作成機能

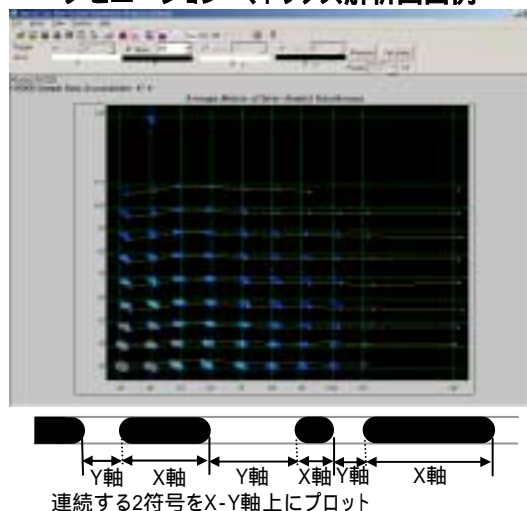
グラフおよびデータを白黒およびカラーで印字できます。

解析画面例

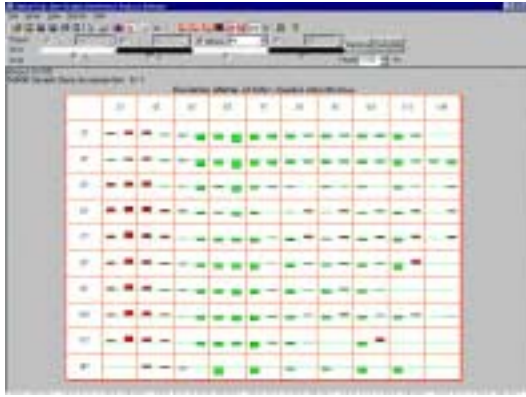
Data-Clock位相差 ヒストグラム解析画面例



デビエーション・マトリクス解析画面例



Data-Dataのデビエーション・バークラフ表示画面例



Y軸 mT X軸 nT 連続する2符号の組み合わせごとにData-Data (パルス幅)のデビエーションをバークラフ表示。
枠内:(nT前のmTのDev、mT後のnTのDev)

Data-Clock位相差のデビエーション・統計値解析画面例



Y軸 mT X軸 nT 連続する2符号の組み合わせごとにData-Clock位相差のデビエーションを統計値表示。

仕様

解析対象データ

機種	サンプリングモード	測定ファンクション
TA320	タイムスタンプモード	パルス幅(両極性)測定
TA520	タイムスタンプモード	パルス幅(両極性)測定
TA720*	符号間干渉解析モード	パルス幅(両極性)測定、パルス幅A パルス幅B測定、パルス幅A AtoBタイムインターバル測定 のどれか

*:TA720はファームウェアバージョン1.02以上

本ソフトウェアで保存したバイナリデータ

測定データ取り込み方法

- ・フロッピーディスクまたは、GP-IB :TA320,TA520,TA720
- ・内蔵HD (TA520オプション) からSCSI経由 :TA520
- ・フラッシュメモリPCカード (TA720オプション) :TA720
- ・イーサネット(TA720オプション) :TA720

解析可能なサンプル数

- ・アキュムレーション機能により最大2Mサンプル解析可能 (2Mサンプル以内で最大64回のデータファイルの積算が可能)

対応変調方式

- ・8-17変調(EFM)、8-16変調(EFM+)、1-7変調、マニュアル(1T~14Tから任意設定)

ウィンドウの設定

- ・ウィンドウサイズ設定方法
各ウィンドウごとに Center/Span または Left/Right から選択
- ・ウィンドウ値入力方法
数値設定 (ウィンドウのレンジを個々にマニュアル設定)
CD/DVD簡易設定
クロック周期が周波数の入力による自動設定
データからクロック周期を推定算出し、自動設定

ヒストグラム解析

- ・データ抽出条件設定
抽出モード/トリガ/抽出対象をトリガバーでグラフィカルに設定
トリガ設定: All/1T~14T/指定T符号以上/指定T符号以下/Odd/Evenから選択
- ・解析結果表示
全データおよび抽出データのヒストグラム表示および統計値(平均値、ジッタ値、演算対象サンプル数)の一覧表示

マトリクス解析

- ・データ抽出条件設定
トリガ/抽出対象をトリガバーでグラフィカルに設定
トリガ設定: All/1T~14T/指定T符号以上/指定T符号以下/Odd/Evenから選択
- ・統計値による解析結果表示
抽出された前符号/後符号ごとの統計値を表示
統計値は、平均値(Average)/Deviation値/ジッタ値から選択
ジッタ量の単位は、%とnsのどちらか選択
- ・グラフによる解析結果表示
全点表示(Graph)/Deviation表示/ジッタ表示の中から選択、
全点表示
抽出された前符号/後符号間ごとの測定平均値をXY軸にプロット(カラーで頻度表示可能)
平均値表示のOn/Off、トレンド表示(縦横折れ線)のOn/Off
ズーム表示可能

Deviation表示/ジッタ表示

- ・抽出された前符号/後符号間ごとのDeviation表示/ジッタ量を表示
- ・表示形状を Bar / Pie / Rectangle より選択可能
- ・ジッタ量の単位は % か ns のどちらか選択
- ・しきい値(2点)の設定と3段階(Good/Safe/Error)の色分け表示

データの保存/呼び出し

本ソフトウェア設定情報(.cfg)、測定データ(.mds)、統計値データ(.csv;保存のみ)、DeviationCenter値(.dev)設定情報のバックアップ

前回の設定情報(測定データを含まず)を保存

コメント入力

最大半角50文字まで入力可能

解析結果の印刷

- ・ヒストグラム解析結果、マトリクス解析結果(グラフ、シート)の印刷
- ・印刷色(白黒/カラー)の選択可能

動作に必要なシステム環境

- ・OS: Microsoft Windows 98 SE, Windows NT Workstation 4.0, Windows 2000 Professional,または Windows XP Professional が必要

- ・PCのメモリ: 64MB (Windows 2000/XPの場合は128MB)以上

- ・CD-ROMドライブ: 本ソフトウェアをインストールするときに使用

- ・ハードディスクの空き容量: 40MB以上

- ・ディスプレイ: SVGA(800×600ドット)以上の解像度(1024×768ドット以上推奨)で256色以上表示可能なもの

- ・GP-IBボード/PCMCIAカード(TA320/520/720本体とGP-IBで接続する場合だけ): NATIONAL INSTRUMENTS社製GP-IBボード、またはPCMCIA-GPIBカードが組み込まれていて、そのドライバがインストールされていることが必要

- ・イーサネットポート: TA720本体とイーサネットで接続する場合だけ

- ・FDドライブ: フロッピーディスクに保存したデータを開く場合だけ

- ・マウス/プリンタ: 使用するOSに対応したものが必要

形名

形名	記事	定価(¥)
704223	TA720/TA520/TA320用 光ディスク符号間干渉解析ソフトウェア	100,000

横河電機株式会社

T & M 営業部 〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32 0422-52-6614

■支社:中部052-586-1666・関西06-368-7123・中国082-541-4488・九州092-272-1731

北陸0762-31-5301・岡山086-221-1411・四国087-821-0646・北九州093-521-7234

■支店:北海道011-756-8288・東北022-265-5301・千葉0436-61-6751・豊田0565-33-1611

MS-07

このカタログの内容は1998年12月2日現在のものです。価格には別途消費税が加算されます。記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

All Rights Reserved. Copyright © 1998, Yokogawa Electric Corporation.

[Ed.01/b]

Printed in Japan, 812(YG)